

【合同資源みらい賞】

うえの よしこ
上野 美子

私の決意・最後まであなたと一緒にです。

上野 美子

2年前の8月、あなたは急に私に言いました。

「年金を下ろしに行きたいんだけど、暗証番号を忘れてしまって。一緒に行って……」

「えっ」私は、驚きました。

A T M機器の前に立ったあなたは、機械を触ることすらしなかったですね。

前日まで全てをあなたに頼ってきた私は、力が抜けて戸惑いました。

翌日から気にしてあなたと接していると、私が言う事を聞いてないし、
答えもずれていました。

そして、外へ出ることが減って、布団の中で1日を過ごす事が多くなりました。

83歳では、仕方がないのでしょうか。

区の検診に2人で出かけました。あなたが、軽い認知症だと言われました。

30年以上服用していた糖尿病治療薬も、インシュリンを勧められたのが嫌で、

4年近くも通院を止めていたのが悪化していました。

検診を受けた医師の所へ、歩かないあなたを、喜寿の私が杖を突きながら車椅子を押して
通院することになりました。

それを見た医師は、往診をしてくれるようになりました。ありがたいことです。

私は決めました。齢を重ねていくあなたと、最後まで家で生活をしましょうと。

医師の勧めもあり、3か月前から週3回、デイサービスに行くようになりました。

でも、口数も少なくなりましたね。

今は寒いけれど、春になったら、桜や桃を隣の公園に見にいきましょう。

私も元気に車椅子を押しますよ。日向ぼっこが楽しみです。

(東京都／76歳／女性／専業主婦)

入賞者の作品への大切な想い…

頼り切ってた夫が、逆転してしまい不安でした。

でも、入院などしないで最後まで一緒に居ましょうと心に決め、(手紙を)書いていました。